

# ○玉名市地球温暖化対策実行計画 平成29年度進捗状況

## 1 温室効果ガス総排出量の比較

本市の事務事業における2017年度(平成29年度)の温室効果ガス総排出量は、基準年度となる2013年度(平成25年度)と比較して26.0%の減となっています。

年度	2013	2014	2015	2016	2017
排出量(t-CO <sub>2</sub> )	14,003	13,123	11,689	10,616	10,366
予測排出量(t-CO <sub>2</sub> )	—	—	—	—	10,428
増減率(2013年度比)	—	-6.3%	-16.5%	-24.2%	-26.0%

## 2 電気・その他エネルギー別使用量の比較

電気やその他のエネルギーの使用状況は、以下のとおりです。

項目(単位)	2013年度 (基準年度)	2017年度	増減量	増減率
電気使用量(kWh)	18,711,939	18,144,926	△ 567,013	-3.0%
ガソリン使用量(ℓ)	60,364	63,310	2,946	4.9%
灯油使用量(ℓ)	267,459	261,054	△ 6,405	-2.4%
軽油使用量(ℓ)	9,275	6,294	△ 2,981	-32.1%
A重油使用量(ℓ)	425,201	411,670	△ 13,531	-3.2%
LPガス使用量(m <sup>3</sup> )	30,934	21,786	△ 9,148	-29.6%

## 3 温室効果ガス総排出量減の主な理由

- ・庁舎等の機能集約、公共施設の民営化、設備機器の高効率化による電力及びその他のエネルギー使用量の減。
- ・電力使用に伴う二酸化炭素排出係数の低減。

### ◆二酸化炭素排出係数とは◆

電気の供給1kWhあたりどれだけの二酸化炭素を排出しているかを示す数値のことです。本計画の基準年度である2013年度では0.613kgCO<sub>2</sub>/kWhとなっていますが、2017年度には0.438kgCO<sub>2</sub>/kWhと大きく低減されています。

この排出係数は、2016年に定められた「地球温暖化対策計画」で2030年度に0.370kgCO<sub>2</sub>/kWhまで低減することを目標とされており、今後も引き続き低減されていくことが想定されます。